



市史だより

第 294 号

令和 5 年 9 月 1 日

小松市史担当



昨年は大水害を見舞い、今年は観測史上最高の 40℃を記録した猛暑となり、小松は自然に厳しい 8 月を過ごしました。まだ酷暑が続きますが、9 月に入ると、秋祭りが盛んです。毎年 9 月初旬には**安宅まつり**が、中旬には向本折町の**悪魔祓い**の伝統行事が行われます。一方で、今年のビッグイベント、**加賀立国 1200 祭**もたけなわで 23 日には、「**加賀のまほろば、時空を超えて**」と題して、朗読劇と平安行列が催されます。この会場が今月 18 日にオープン予定の「**Komatsu 九**(コマツイン)」(小松市観光交流センター)で、駅に併設されたひと・もの・情報の交流拠点となる、小松の魅力満載のスペースです。**北陸新幹線小松駅の開業**に向けて、新しい小松の姿が見えてきました。市民の皆様もいろいろな行事に参加されて、盛り上げていきましょう!!

『新修 小松市史 通史編Ⅰ』見どころ



近世の 5 章からは、時系列でなく、**テーマ別**に江戸時代の町村の様子を伝える。

小松の町づくりは、前田利常の施策で、大きく発展を遂げることになる。まず、町村の体制を整え、町は小松町奉行を中心に町役人を配置し、村は十村を組織して町村政に当たらせた。町の暮らしは『**小松旧記**』から商売や娯楽のことなどが知ることができる。村は金平の十村であった石黒家に文書が残り、**金山絵巻**(写真右)を始め、村の生計の実態が窺い知れる。



町の特筆すべき特徴として、当時、災害が多かったことから米を備蓄する「**社倉**」が置かれたこと。街道が整備され**一里塚**(写真左/串茶屋)を築き、街道沿いには旅籠屋が建ち並び、町が賑わったこと。小松城整備のため集まった職人たちがそのまま小松に居住し、その技を多方面に活かし、文化が花開いたことなどが上げられる。

産業でも、利常の奨励により、**小松絹**、**茶**、**畳表**などが生産を伸ばし、**北前船**のよる運送に活路を見い出し、全国に運ばれた。この他にも、**鉱山**、**温泉**、**海運**、**九谷焼**など明治期以降の基幹産業となる土台がこの時に築かれた。



前田家の文化政策は、隠居地である小松でも栄え職人達が腕を振るった。茶の湯は**仙叟**(センソウ)が招聘されたことでこの地でも花開き、現在も脈々と受け継がれている。茶の湯で使う道具には、職人が技を磨き、書画、陶・漆芸、金工などに名品が生まれた。

利常が逝去し、家臣が金沢に帰藩後も町民による文化が華やいだ。**お旅まつり**がその最たる例であるが、学問の面でも子弟教育に力を注いでいる。町方には「**習学所**」(写真右矢印/集義堂・学問所)を構え、藩士の子弟には「**修道館**」で武も合わせて教えた。

江戸期の小松の様相が網羅された 1 冊である。



『新修 小松市史』アピール画像



『新修 小松市史』は、販売用チラシを作成し、PRに努めています。表には、『通史編』の箱表紙にも掲載した目玉資料を取り上げています。今回は、11～18巻を紹介します。(左上から右へ巻順に紹介)

- 『11 民俗』…9月初旬に行われる安宅まつり。大漁と航海の無事を祈り、七福神を乗せた曳舟が町を練り歩く。
- 『12 美術工芸』…色彩の魔術師と言われた当市出身の洋画家宮本三郎の「日本の四季」。春(酪農)の風景を描く。
- 『13 近世村方』…元文2年加州能美郡図籍。能美郡の6郷を色別にし、安宅浦から遠近の山々まで見取った図。
- 『14 産業』…浜佐美本町八幡神社奉納の絵馬「機織図」(明治34年)。繊維産業奨励の願いを込め、納められた。
- 『15 建築』…伝統的町家建築が残る龍助町の町並み。高い「吹き抜け」のオエなど、代表的な町家の様式が残る。
- 『16 教育』…明治期の一斉授業風景。当時の教室の様子や教師・児童たちの服装など、時代の様相を物語る。
- 『17 考古』…矢田野エジリ古墳出土の人物埴輪。古墳時代の葬送儀礼を物語る屈指の資料。重要文化財指定。
- 『18 近現代』…北陸新幹線「小松駅」開業を目指し、駅から木場潟方向に伸びる線路。令和6年春完成予定。

『新修 小松市史 通史編Ⅰ・Ⅱ』

仕様：B5版 上製本 布装丁 貼ケース入り
 特別価格：5,400円(税込)(12月まで)
 定価：7,000円(税込)(令和6年1月から)
 販売所：市史担当事務局・うつのみや・明文堂書店

<9月のカレンダー> 開室時間 10:00～17:00(火～金)/9:00～17:00(土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

* は市史担当の事務局は閉室しています。9/26～10/5は図書館の蔵書点検に合わせ休室となります。

小松市史担当 (小松市立図書館 2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

